

北海道立近代美術館



① 令和5年度の主な取組の進捗状況

A 優れた作品の収集と適切な保管

- 美術品取得基金の活用 → 2点購入予定（彫刻1点、写真1点（20点組））
- 収蔵作品の修復 → 彫刻5点、油絵2点、版画3点の修復を実施
- 作品の額のガラスやアクリルを低反射タイプに順次更新 → 本年度末に実施予定

B 多彩で特色ある展示活動の充実

※ 展覧会の内容については別途説明

C 学習の場と情報提供の充実

- スマートフォンで作品の解説を読み、聞くことができる「ポケット学芸員」を導入
→ 近美・三岸・知事公館エリアの野外彫刻など9点の解説を作成し「ポケット学芸員」での視聴運用開始
- リモート・ミュージアム（動画コンテンツ）の作成・配信
→ 「昭和のガラス工芸」「AINU ART - モレウのうた」「小川原脩記念美術館コレクション展」の3本制作
- 「ミュージアム・トーク」「みどころ解説」及び外部講師によるトークの実施
→ 学芸員による「みどころ解説」など25回、外部講師による講演会など10回開催

<収蔵作品の修復状況>



安田侃
《意心帰》



安田侃
《無何有》



本郷新
《嵐の中の母子像》

D 活動の基礎となる調査・研究の推進

- 特別展、自主企画展等に関連した調査・研究及び成果の地域社会への還元
- コレクション研究 → 研究紀要の発行、「この1点を見てほしい。」の実施
- 最新の展示環境に関する情報の収集及び展示のノウハウの研究 → 照明機器購入

E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

- 北海道美術館協力会、美術館ボランティアと連携した教育普及事業の実施
- 小中高等学校等と美術館をオンラインで結び、学芸員が所蔵作品について授業を行う「オンラインアート教室」の実施
→ 中標津高等学校、札幌聾学校ほか5校を対象に実施
- 「アートギャラリー北海道」事業の実施及び参加館への協力
→ 小川原脩記念美術館との連携



オンラインアート教室
(千歳高等支援学校)

F 安全で快適な滞在環境の提供

- 施設・設備の点検実施、計画的な補修工事の実施
→ 道教委技術職員による定期点検及び職員対象の講習、屋上防水改修工事、吸収式冷凍機更新 (ほか)

○ 知事公館、三岸好太郎美術館を含むエリアの魅力発信、各館との連携事業の実施

→ エリア近隣のカフェ等17店を掲載した「ART&EAT MAP2023」を作成し来館者に配付

→ 連携事業の内容については別途説明

○ 館内表示等の工夫

○ 来館者アンケートの取組

○ 施設の快適性向上に向けた取組

→ 芸術週間（R5.11.1～7）にカフェスペースでお茶の無料サービスを実施

→ カフェスペースで実行委員会展共催者と協働し期間限定の特設カフェを設置



< ART&EAT MAP2023 >



< コラボカフェ 徳光珈琲 >



< 魯山人カフェ CROWD ROASTER プロデュース >

② 令和5年度 展覧会事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
近美コレクション ／ 展示室A	8日 ～ 4月9日 R4コレクション展Ⅲ期	(コレクション展Ⅰ期) 44日 4月22日(土)～6月11日(日) 【1階】 美しいものとの時間 友田コレクションの精華 魅惑の版画と詩 【2階】 昭和のガラス工芸 新収蔵品展					【道単特別展】 51日 9月16日(土)～11月12日(日) 【1階】 揺さぶる絵 変貌する日本画のイメージ 【2階】 アール・ヌーヴォー 自然を映しだすガラス アートギャラリー北海道 小川原脩記念美術館コレクション展					【共同企画】 50日 (公財) アイヌ民族文化財団 1月13日(土)～3月10日(日) 【1階・2階】 AINU ART—モレウのうた					8日 (コレクション展Ⅱ期 →R6コレクション展Ⅰ期) 3月23日(土) ～6月16日(日) 【1階】 越境者バスケン 【2階】 現代ガラスのオノマトペ 片岡球子「面構」シリーズ この1点を見てほしい。
		設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館					
特別展 ／ 展示室B	～ 4月2日 サンパ展	【貸館】道新 44日 トリック×イリュージョン! 4月22日(土)～6月11日(日)					【実行委員会】STV 51日 札幌テレビ放送創立65周年記念 足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展 — 和の美、再発見。 9月16日(土)～11月12日(日)					【共同企画】 32日 札幌国際芸術祭実行委員会 札幌市 札幌国際芸術祭2024 1924-2024 FRAGILE 1月20日(土)～2月25日(日)					8日 【貸館】 第90回記念 独立展北海道展 3月23日(土) ～3月31日(日)
		設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館					

【展覧会の実施状況】

〈近美コレクション（常設展）〉

	展覧会名	開催期間	日数	実施状況	
				観覧者数	一日当たり観覧者数
第Ⅰ期	美しいものとの時間 友田コレクションの精華 魅惑の版画と詩／昭和のガラス 工芸／新収蔵品展	令和5年 4月22日（土）～ 6月11日（日）	44	7,489	170
第Ⅱ期	越境者パスキン／現代ガラスのオノマトペ／この1点を見てほしい。	令和6年 3月23日（土）～ 6月16日（日）	8		
計			(令和6年1月31日現在)	52	

〈特別展〉

	展覧会名	開催期間	日数	実施状況	
				観覧者数	一日当たり観覧者数
	トリック×イリュージョン！（貸館）	令和5年 4月22日（土）～ 6月11日（日）	44	41,137	934
	足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展 一和の美、再発見。 （実行委員会）	令和5年 9月16日（土）～11月12日（日）	51	38,649	757
	揺さぶる絵 変貌する日本画のイメージ アール・ヌーヴォー 自然を映しだすガラス アートギャラリー北海道 小川原脩記念美術館コレクション展（道単）	令和5年 9月16日（土）～11月12日（日）	51	9,094	178
	AINU ARTーモレウのうた（共同企画）	令和6年 1月13日（土）～ 3月10日（日）	16	2,196	137
	札幌国際芸術祭2024 1924-2024 FRAGILE（共同企画）	令和6年 1月20日（土）～ 2月25日（日）	10	3,101	310
	第90回記念独立展北海道展（貸館）	令和6年 3月23日（土）～ 3月31日（日）	8		
計			(令和6年1月31日現在)	236	

1 - (2) 令和 6 年度事業実施計画 (予定)

(近代美術館)

① 令和 6 年度 道立近代美術館事業費予算

単位：千円

歳入予算					歳出予算				
区分	令和5年度 予算額 (a)	令和6年度 予算額 (b)	比較 (b-a)	摘 要	区分	令和5年度 予算額 (a)	令和6年度 予算額 (b)	比較 (b-a)	摘 要
常設展観覧料収入	7,755	6,968	▲ 787		常設展事業費	13,449	15,471	2,022	常設展（近美コレクション）にかかる経費
特別展（道単）観覧料収入	7,975	7,891	▲ 84		特別展（道単）事業費	11,632	10,232	▲ 1,400	道単開催の特別展にかかる経費
実行委員会展収入	0	0	0	(大規模県の例) 共催展収入20,000	特別展（実行委員会）負担金	4,000	4,000	0	実行委員会主催の特別展にかかる経費
実行委員会展展示室料	0	0	0		教育普及・調査研究資料収集費	669	821	152	美術講演会、普及活動のほか資料調査収集等を行う経費
貸館料収入	10,950	6,711	▲ 4,239	展示室、講堂等利用	親子ふれあい芸術体験事業	205	205	0	親子で美術館を楽しむワークショップなどを行う経費
芸術文化振興基金等収入	3,000	3,000	0		移動美術館	0	0	0	令和5年度から事業休止
キャンパスパートナーシップ	70	70	0		収蔵作品特別緊急修復事業	6,158	161	▲ 5,997	作品修復を行う経費
一般財源	6,401	6,288	▲ 113		その他	38	38	0	
計	36,151	30,928	▲ 5,223			36,151	30,928	▲ 5,223	

② 令和6年度の主な取組

A 優れた作品の収集と保管

- 美術品取得基金の活用の取組
- 経年劣化した額装の更新など、収蔵作品の保全と環境の整備
- 野外彫刻の定期的なメンテナンス

B 多彩で特色ある展示活動の充実

※ 展覧会の内容については別途説明

C 学習の場と情報提供の充実

- リモート・ミュージアム（動画コンテンツ）の作成・配信
- ミュージアム・トーク、ワークショップ等の実施

D 活動の基礎となる調査・研究の推進

- コレクション及び今後の展覧会等に関連した調査・研究とその成果の地域社会への還元
- 一般利用者・研究者等が行う調査・研究への支援・協力

E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

- 北海道美術館協力会、美術館ボランティアと連携した教育普及事業の実施
- 小中高等学校等と美術館をオンラインで結び、学芸員による鑑賞授業を実施
- 学校に向けて、自主研修など美術館の活用や鑑賞学習支援ツールの活用の周知強化
- 「アートギャラリー北海道」参加館のコレクション紹介や広報の相互協力
- 知事公館・庭園、三岸好太郎美術館を含むエリアとしての魅力を発信
- 「目指す姿」の実現に向けた取組等の検討

F 安全で良好な滞在環境の提供

- 施設・設備の点検充実、計画的な補修工事の実施
- カフェスペースの新たな活用の検討
- 来館者アンケートに対する対応の充実

③ 令和6年度 展覧会事業

令和6年度
展覧会

5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

近美コレクション / 展示室A



近コレ1期
3月23日(土)～6月16日(日)

越境者パスキン

塩谷直美《奥の予感》
2001年

現代ガラスのオノマトペ

片岡球子「面構」シリーズ

※展示は5月12日(日)まで。



片岡球子《面構 一休さま》2000年

この1点を見てほしい。
山口蓬春《向日葵》1955年

※展示は5月12日(日)まで

新収蔵品展

※展示は5月18日(土)から

近コレ2期
7月9日(火)～9月26日(木)

浮世絵のヒロインたち

組物・続き物から生まれるストーリー

岩橋英遠《道産子追憶之巻》



岩橋英遠《道産子追憶之巻》(部分)1978年

With Kids!
ウィズ・キッズ'24
なぜこのかたちなの？

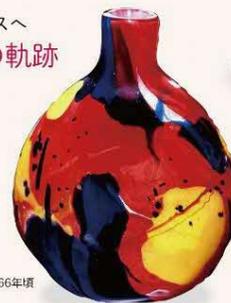
アートギャラリー北海道

港の今昔 苫小牧市美術博物館
コレクションから

近コレ3期
10月12日(土)～12月8日(日)

With Kids!
ウィズ・キッズ'24
みる・ふれる・つたえる
さいきょうのざいりょう

温かいガラスへ
岩田藤七の軌跡



岩田藤七《花器》1966年頃

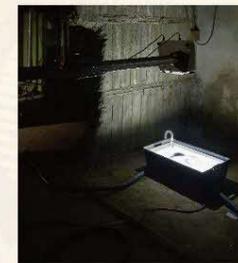
この1点を見てほしい。
荻須高德《薪炭屋》1954年



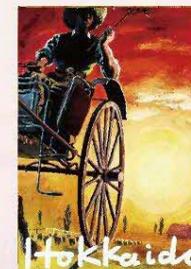
中村木美
《アリスの大ねずみ》2009年

特別展
2025年1月5日(日)～3月16日(日)

星の瞬間
アーティストとミュージアムが
読み直す、Hokkaido



雄略《生命の循環》2015年 作家蔵



栗谷川健一《夕陽と牧車》(原画)1951年

変貌する20世紀
ヨーロッパ・ガラス
プロダクトへ、アートへ



インゲボリィン・ルンディーン《花器・りんご》1957年

特別展等 / 展示室B

特別展
4月20日(土)～6月2日(日)

「琳派×アニメ」展

～尾形光琳、神坂雪佳から鉄腕アトム、
リラックマ、初音ミクまで～

主催：S T V札幌テレビ放送



尾形光琳《富士三壱図屏風富士土図》右隻 江戸時代中期 個人蔵

特別展
7月9日(火)～9月1日(日)

国宝「鳥獣戯画」北海道初公開
京都 高山寺展

明恵上人と文化財の伝承

主催：北海道立近代美術館、高山寺、北海道新聞社、
HTB北海道テレビ、NHK札幌放送局



国宝《鳥獣戯画 甲巻》(部分)平安時代 12世紀、高山寺蔵
展示期間：7月9日(火)～7月28日(日)

特別展
9月21日(土)～10月27日(日)

皇居三の丸尚蔵館展
皇室の至宝(仮称)

主催：北海道立近代美術館、テレビ北海道、
皇居三の丸尚蔵館



国宝 伊藤若冲《動植雑絵 紫陽花双鶏図》(部分)18世紀
皇居三の丸尚蔵館収蔵

貸館
12月5日(木)～12月15日(日)

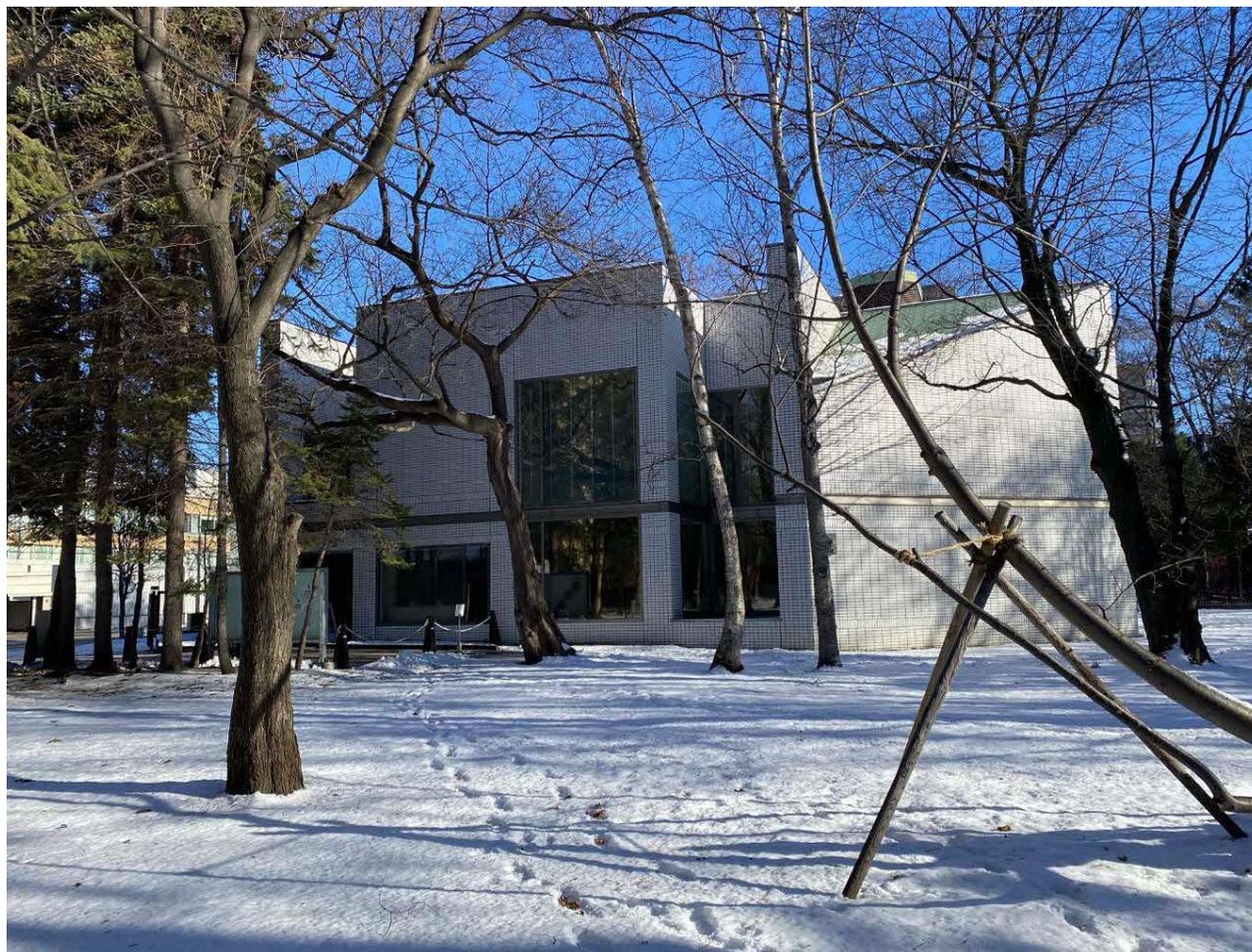
北海道書道連盟創立
70周年記念展

主催：北海道書道連盟

④ 令和6年度 教育普及活動計画

<p>【解説活動】 (通年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ミュージアム・トーク / 当館学芸員が、一般来館者を対象に館内展示中の作品について詳しく講話する(約30分)。日曜 午後2時～ ■ ワークシート / 当館の代表的な所蔵作品についてワークシート(設問式の解説書)を整備し、主に「近美コレクション」(展示室A)に設置する。 ■ ギャラリー・ツアー / 北海道美術館協会のボランティアが「近美コレクション」(展示室A)で、展示中の作品について解説する(約30分)。 火～土：午前11時30分～(1階)、午後1時～(1階)、午後2時～(2階) 日・祝日は実施なし ■ アート・レファレンス・サービス ARS / ● 質問コーナー：火～土 午前10時30分～午後3時 ● ビデオ・ライブラリー ● 図書コーナー ■ 北海道リモート・ミュージアム / 学芸員による展覧会解説のオンライン配信(YouTube)。随時制作予定。
<p>【主催事業】 (適時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「講演会」「講座」「作品解説」など、展覧会関連事業を随時実施する。 ■ 夏休み期間中の子どもや家族を対象としたワークショップなど、多彩な自主事業を実施する。 ■ 「オンライン・アート教室」など、館外での事業を実施する。
<p>【連携・協力事業】 (適時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 北海道美術館協会との連携・協力 / 「美術講座」「美術講座プレミアム」「ジュニア・アートクラブ」などに協力するほか、ボランティアの活動を随時支援・助言する。 ■ 学校教育との連携・協力 / 「指導者研修」「博物館実習(館園実習)」「学芸員インターンシップ」「美術体験充実事業(鑑賞学習支援ツール)」などの連携事業を行なうほか、「自主研修」「職場体験学習」「博物館実習(見学実習)」などの受け入れを随時行なう。 ■ 三岸美術館・知事公館との連携・協力 / 「音声ガイド」など。 ■ 道立図書館との連携・協力 / 特別展に関連した「図書コーナー」を設置する。
<p>2023. 4 5 6 7 8 9 10 11 12 2024. 1 2 3</p>	
<p>～6月16日(日) 越境者バスキン/現代ガラスのオノマトベ/片岡球子「面構」シリーズ この一点を見てほしい。(～5月12日)/新収蔵品展(5月18日～)</p> <p>4月20日(土)～6月2日(日) 「琳派×アニメ」展【貸館】</p> <p>7月9日(火)～9月26日(木) 浮世絵のヒロインたち/岩橋英逸《道産子追憶之巻》 ウィズ・キッズ'24 なぜこのかたちなの? AGH 港の今昔 苫小牧市美術館コレクションから</p> <p>10月12日(土)～12月8日(日) ウィズ・キッズ'24 みる・ふれる・つたえる さいきょうのざいりょう 温かいガラスへ 岩田藤七の軌跡/この一点を見てほしい。</p> <p>9月21日(土)～10月27日(日) 皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品(仮称)</p> <p>12月5日(木)～15日(日) 北海道書道連盟創立70周年記念展【貸館】</p> <p>1月5日(日)～3月16日(日) 星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido 変貌する20世紀ヨーロッパ・ガラス プロダクトへ、アートへ</p>	
<p>7月9日(火)～9月1日(日) 国宝「鳥獣戯画」北海道初公開 京都・高山寺展 明恵上人と文化財の伝承</p> <p>11/1-7 芸術週間</p>	
<p>【解説活動】 ミュージアム・トーク、ワークシート、ギャラリー・ツアーなど</p> <p>リモートミュージアム作成・配信</p> <p>リモートミュージアム作成・配信</p> <p>リモートミュージアム作成・配信</p> <p>アートギャラリー北海道 (AGH) 月間</p>	
<p>8～12月 オンライン・アート教室 (7校程度)</p>	
<p>美術講座 5月9日～8月29日(全10回)</p> <p>アートクラブ 6月</p> <p>夏休み ワークショップ</p> <p>博物館実習 8月(7日間) 指導者研修 8月</p> <p>美術講座プレミアム 10月(全5回)</p> <p>ジュニア・アートクラブ 11月</p> <p>アートクラブ 2月</p> <p>指導者研修 1月上旬</p>	
<p>北海道リモート・ミュージアム (YouTube で配信)</p> <p>【学校教育との連携・協力】 自主研修・職場体験学習(開館時)、博物館実習(見学実習)、オンライン・アート教室など</p> <p>【三岸美術館・知事公館との連携・協力】 音声ガイドなど / 【道立図書館との連携・協力】 図書コーナー</p>	

北海道立三岸好太郎美術館



資料2-1 令和5年度事業の実施状況（三岸好太郎美術館）

①令和5年度の主な取り組みの進捗状況

A 優れた作品の収集と適切な保管

○優れたコレクションの形成

→ 三岸好太郎《南部の跳躍》（1932年、水彩、コンテ・紙。41.8×29.2cm）を、遺族から受託し、コレクションの充実を図った。

○所蔵作品の適切な保管

→ 作品の額のガラスを低反射タイプに順次交換、あるいは新規取り付け。R5は1点取り付け。（「大通公園」）

→ 額装の間紙を順次新しいものと交換。R5は24点交換。（素描の入っている額）

→ これまで貼り付けを行なっていなかった作品備品表を、展示替えごとに随時貼り付け。

→ 月に一回文化財害虫トラップを交換するとともに収蔵庫の清掃を行い、保存環境の向上に努めた。

○コレクションの効果的な活用

→ 絵本原画と当館のコレクションを合わせて展示することにより、幅広い世代に親しんでもらえる展示内容とした。

→ 注目されてこなかった好太郎のトラピスト修道院訪問をとりあげ、好太郎のエキゾチック趣味の新たな側面に光を当てた。

B 多彩で特色ある展示活動の充実

○多様なニーズに応える展覧会の開催

→ 展覧会の内容については、別途説明。

○観覧者拡充のための工夫

→ 所蔵品展プレミアム「おばけのマールとたからもの」展では、展示室にしながら絵本の世界に入り込めるような工夫をした。

→ 特別展では、トラピスチヌ修道院に残る伝統的な木靴（サボ）を拝借して展示し、展覧会の内容を充実させた。

○館外における鑑賞機会の提供

→ ミギシ・サテライト（北菓楼札幌本館）令和5年3月17日～令和6年3月14日において4点の作品を順次展示。

→ 北海道立帯広美術館・釧路芸術館・国立アイヌ博物館への作品貸出。

C 学習の場と情報提供の充実

○教育普及活動の充実

- 学芸員によるギャラリー・トークの実施。
- ボランティア解説員による展示解説の実施
- #みまのめVOL.9出品作家によるアーティスト・トークの実施。
- 夏休み・冬休み時期に子ども向けプログラム「たんけん美術館」を実施。
- 開館記念日(7/1)、道みんの日(7/17)、カルチャーナイト(7/19)などの無料開放の機会にあわせて、ギャラリー・ツアーやグッズ・プレゼントなど、多彩なプログラムを用意し、来館者の満足度を高める工夫をした。
- 三岸好太郎の孫を講師に招き、ギャラリー・トーク及び美術講演会を実施。
- マール記念日に読み聞かせ付きコンサート、芸術週間にバル・ミュゼットのミュージアムコンサートを実施。
- 折り紙建築のワークショップを実施。

○情報提供の充実

- 美術館ホームページにおいて、展覧会情報や各種イベント情報について情報発信を行った。
- SNSを活用し、展覧会情報や各種イベント情報、美術館の施設情報などについて頻度を高く発信した。

D 活動の基礎となる調査・研究の推進

○調査・研究の推進

- 「三岸好太郎再発見！」展のために、函館市のトラピスチヌ修道院で資料調査を行い、その成果を展覧会を通じて社会に還元した。
- 令和6年度開催予定の「モダニストの蝶 詩人・安西冬衛と好太郎」展のために、堺市中央図書館で資料調査を行った。

E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

○多様な機関との連携・協力

- 美術館協力会と連携し、ボランティア解説員による展示解説や協力会主催の研修会への講師派遣を実施。
- 北菓楼札幌本館及び三岸好太郎美術館後援会と連携し、来館者にスイーツ交換券を配布。美術館から北菓楼札幌本館へ人の流れを創出。
- #みまのめVOL.9開催により北海道ゆかりの若手作家の表現活動を紹介した。

○学校等の教育機関との連携・支援

- 余市養護学校高等部の生徒が参加し、当館学芸員が講師として、教室と美術館をオンラインで繋いだ鑑賞授業「オンラインアート教室」を実施した。

F 安全で快適な滞在環境の提供

○施設の適切な維持管理

- 定期検査等で常に施設設備の機能や安全性を点検し、施設の不具合や検査等で指摘のあった事項に対して速やかに修繕又は改修を行った。R5は、展示室内に漏水が発生したが、館職員が設備運転保守管理業者や工事業者と連携を図り適切に対応した。

○施設の適切な維持管理

- 受付・監視等委託業者による丁寧な接客対応を実施した。
- 館職員、警備、受付・監視、設備運転管理保の各委託業者、カフェ・売店事業者がそれぞれ連携を図り、良好な滞在空間の維持・提供に努めた。

①令和5年度展覧会事業

2023							2024					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
休館日	1～6,10,17,19～28	1,8,15,22,29	5,12,19,26	3,6～14,18,24,31	7,14,21,28	4,11,19,25,27～30	1～6,10,16,23,30	13,20,27	4,6～15,18,25,29～31	1～3,9,15,22,29	5,13,19,26～29	4,11,18,25,29～31
展覧会	所蔵品展 4月7日(金)～18日(火) 10日間 デコポコンポジション ■スポット展示 《立てる道化》が絵本になった! ※R4年度より継続	所蔵品展 (58日間) 4月29日(土)～7月5日(水) 三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 道産子が行く。 北海道・札幌一北の風土に育まれた画家の感性は、独特の色彩感覚やロマンティズムをもたらしています。激動する大正～昭和初期の美術界をたくましく進取的に、そして自由奔放に歩んだ道産子・三岸好太郎の魅力に迫ります。	所蔵品展プレミアム (63日間) 7月15日(土)～9月26日(火) 三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 おばけのマールとたからもの えほん『おばけのマールとちいさなびじゅつかん』での出会いから15年。ここはすてきなお気に入り。あるときマールは、たいせつなたいせつなたからものをこぶ旅をしたのでした。いっしょに旅するのはだれ？ むかうのはどこ？ たからものはなに？ そしてそして…。 * 三岸の代表作とともにたのしく展覧会をめぐる予定です。	特別展 (52日間) 10月7日(土)～12月5日(火) 三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 三岸好太郎再発見！ 繊細な詩情に満ちた絵画世界を切り開いた天折の画家の画業と作品にあらためて目を向け、その知られざる側面や芸術の特質などを探ります。 ■同時開催 もっと知りたい 三岸アトリエ	所蔵品展 (81日間 +12日) 12月16日(土)～4月18日(木) 三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 恋する画家の陶酔ざんまい 多くの女性への陶酔をはじめ、触れあつたさまざまなものに魅せられ、惚れ込み、恋するほどの情熱を燃やして生まれた秀作の数々をたどります。 ■併催 AGH事業 12月16日(土)～2月25日(日) 57日間 mima-no-me #みまのめ <VOL.9> 北海道ゆかりの若い美術家を紹介するシリーズ企画9回目。							
	連携展示	3～6月 北菓楼札幌本館における展示 ミギシ・サテライト	6～9月 ミギシ・サテライト	9～12月 ミギシ・サテライト	12～3月 ミギシ・サテライト							
普及事業・関連事業 * 実施可否今後検討			7月下旬～8月中旬 「たんけん美術館」 「マール記念日」			10月～11月 ・特別展関連事業（講演会等）		12月下旬～1月中旬 「たんけん美術館」 12～2月 AGH事業「#みまのめ」				
	(通年) * 所蔵品展展示解説 /火～土 午後1～3時(祝日を除く) 解説：北海道美術館協力会解説部ボランティア (随時) * 学芸員トーク/映像機器等利用のミニ講話(展示室内)。展示のみどころやエピソードなどを学芸員が語ります。 (随時) * 館外講座/学校等の要望に応じて、学芸員が館外に出向いて講座を実施。											
(音楽事業)				「マール記念日」 読み聞かせ付きコンサート			「芸術週間」 ミュージアムコンサート					
	* 図書コーナー/通年 2F 三岸好太郎に関する画集・図録・文献や、美術図書等を閲覧できます。											
	□アニヴァーサリー/7月1日は開館記念日(観覧無料) * 4月18日は三岸好太郎誕生日(節子命日)											
	■カルチャーナイト/7月21日(金)			■芸術週間/11月1日(水)～7日(火)								

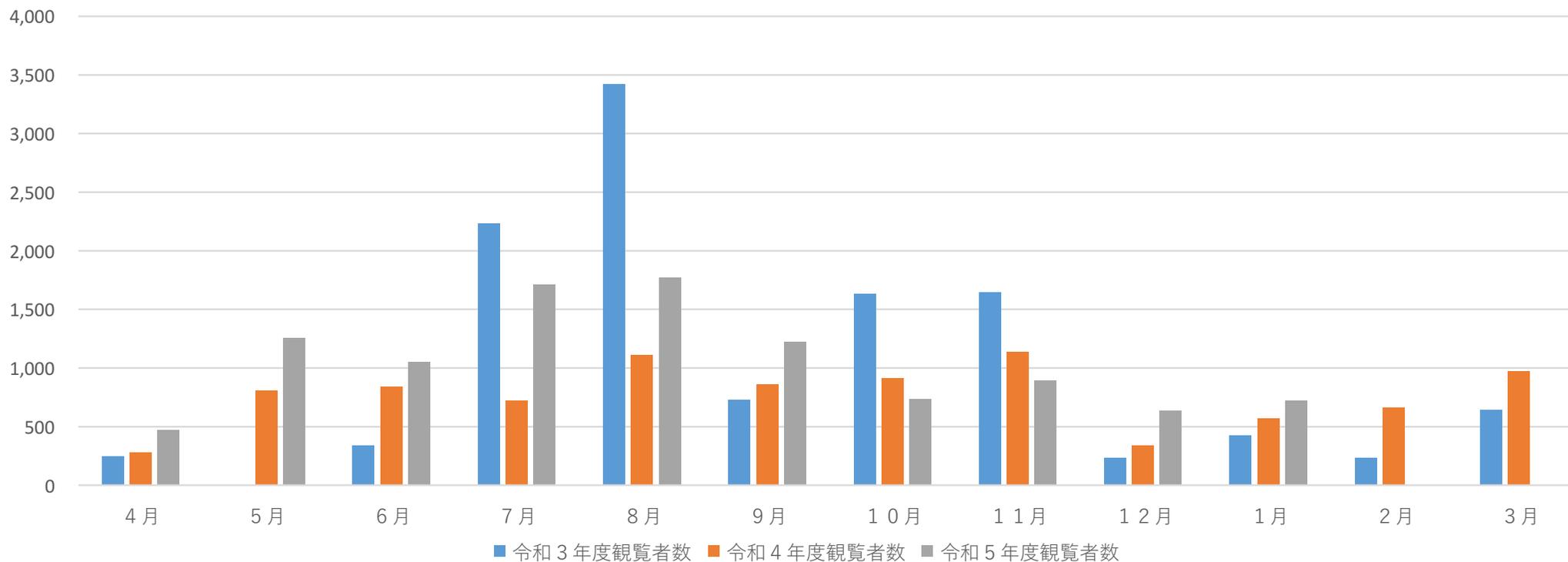
②令和5年度展覧会事業

令和6年1月末日現在

(1) 所蔵品展		内容	開催期間	日数	観覧者数	
展覧会名					人数計	1日当たり
第1期	デコボコンポジション ■スポット展示 《立てる道化》が絵本になった! ※R4年度より継続				めまぐるしく変転した三岸の造形には、多様な試みと屈曲のある表現を見ることが出来る。幾重にも塗り重ねた色彩の深み、厚塗りの画面の盛り上がりや凹凸、なめらかさとザラザラの質感の対比、絵の具を引っかけて線を刻む手法、紙や印刷物を貼り付けたカラーージュ等々。起伏ある画業とともに、新しい表現を求め続けた実験精神に注目して、造形の展開をたどった。 ■三岸の代表作をモチーフとした新作絵本を紹介する企画の第3回目。《立てる道化》をモチーフにした、絵本作家・やまだなおの世界を紹介。	4/7[金]～4/18[火]
第2期	三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 道産子が行く。	北国ののびやかで時に厳しく荒々しい自然。洋館の建つモダンな街並み。ともに生きた故郷の人々。三岸は北海道をこよなく愛した。北の風土に育まれた画家の感性は、独特の色彩感覚やロマンティズムとして、作品に息づいている。 新しい絵画の創造をめざして、激動する1920-30年代の美術界を、たくましく進取的に、自由奔放に歩んだ道産子・三岸好太郎。その個性的な歩みを「道産子」をキーワードに紹介。	4/29[土]～7/5[水]	58日	2,763人	48人
第3期	三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 おばけのマールとたからもの	札幌発の人気の絵本『おばけのマール』シリーズ(え・な・か・い・れい ふん・けーたろう)。シリーズ第四弾として2008年に誕生したのが、当館を舞台とする『おばけのマールとちいさなびじゅつかん』。本作の原画と合わせ、当館に関連するマールシリーズ『おばけのマールとモーニングのあとで』ならびに本展に合わせて刊行されるシリーズ最新作『おばけのマールとほしぞらのフルコース』の原画を、絵本の中に登場する当館のコレクションと合わせて一堂に展示。	7/15[土]～9/26[火]	63日	4,362人	69人
第4期	三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 恋する画家の陶酔ざんまい ■アートギャラリー北海道 mima-no-me #みまのめ(VOL. 9)	三岸好太郎(1903-1934)は、女性はもちろん、音楽、建築、人形劇、風景など、さまざまな美の世界に陶酔し創造のエッセンスを汲み上げた。 本展では「陶酔」をキーワードに、モダンなライフ・スタイルや、エキゾチックな世界、あまたの女神(ミューズ)たち、音楽からのインスピレーションなど、好太郎の心をふるわせたモチーフの数々を通して、好太郎の表現世界の魅力を紹介。 ■北海道ゆかりの若い作家を紹介するシリーズ企画9回目。20代～30代の作家4名(岡崎莉望、川尻舜、梶田みなみ、中村まり子)の作品展示。	12/16[土]～2024.3/28[木] (翌年度に継続～4/18[木])	81日 (34日)	1,096人	14人 (32人)
計				212日	8,581人	
(2) 特別展						
展覧会名		内容	開催期間	日数	観覧者数	
					人数計	1日当たり
三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 三岸好太郎再発見! ■同時開催 もっと知りたい三岸アトリエ		三岸好太郎(1903-1934)は、画家を目指し18歳の年に上京。美術界の新しい動向を貪欲に摂取し、めまぐるしく作風を変遷させながら、画家として大きな注目を集めた。10年ほどの短い画業の中で近代感覚にあふれた清新なイメージの世界を切り開いた。三岸好太郎生誕120年、新館開館40年の節目に当たってその画業と作品を見つめ直し、その足跡や芸術の特質を丁寧に振り返った。 ■三岸が最晩年にエネルギーを傾け、没後に竣工したアトリエ(東京・鷺宮)。現存する国内最古の木造モダニズム建築として貴重なこの建築を写真や資料で紹介。	10/7[土]～12/5[火]	52日	1,892	36人
計				52日		

③観覧者数の推移

令和6年1月末日現在



項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度観覧者数	(人)	247	0	340	2,233	3,427	732	1,637	1,647	233	424	237	643	11,800
令和4年度観覧者数	(人)	282	805	840	725	1,109	861	917	1,139	342	569	660	972	9,221
令和5年度観覧者数	(人)	470	1,256	1,054	1,712	1,772	1,221	739	896	634	719			10,473

資料 2 - 2 令和 6 年度事業実施計画（三岸好太郎美術館）

①令和 6 年度 三岸好太郎美術館事業予算状況

(千円)

歳入予算				歳出予算			
区分	令和5年度	令和6年度	摘要	区分	令和5年度	令和6年度	摘要
観覧料（常設展・特別展）	2,566	2,511		展覧会	常設展	2,786	2,947 AGH含む
その他	1,109	111 AGH含む			特別展	3,293	1,817
一般財源	3,847	3,785		教育普及	155	423 親子ふれあい含む	
				調査研究	98	54	
				維持運営費	1,190	1,166	
計	7,522	6,407		計	7,522	6,407	

②令和6年度の主な取り組み

A 優れた作品の収集と適切な保管

作品の額ガラスを低反射タイプに順次交換、あるいは新規取り付け。
作品に害のないよう、間紙を中性紙に順次交換。
作品備品表貼り付けの展示替えごとの実施。
トラップの交換ならびに定期的清掃を継続。

B 多彩で特色ある展示活動の充実

展覧会の内容については、別途説明。

C 学習の場と情報提供の充実

ミニ・リサイタルの再開をはじめ、音楽会、朗読会、人形劇、街歩きツアー等展覧会の内容に即したイベントの実施。
「#みまのめ」展での出品作家によるトークの実施。
学芸員によるミュージアムトークの実施。
ホームページにおける多言語化の推進ならびにSNSでの頻度の高い情報発信。

D 活動の基礎となる調査・研究の推進

展覧会関係テーマ、他館所蔵作品、オークション等市場に出た作品等について調査・研究し、美術館活動に反映。

E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

美術館協力会や美術館ボランティアの活動への協力。

「ミギシ・サテライト」での北菓楼、出前授業での北九条小学校など、地域の様々な団体等と連携した事業の実施。

「アートギャラリー北海道事業」として、若手作家の表現活動を紹介。

F 安全で快適な滞在空間の提供

施設の安全性確保のための必要な措置。

館職員、受付・監視業者、ショップ事業者の連携による良好な滞在空間の提供。

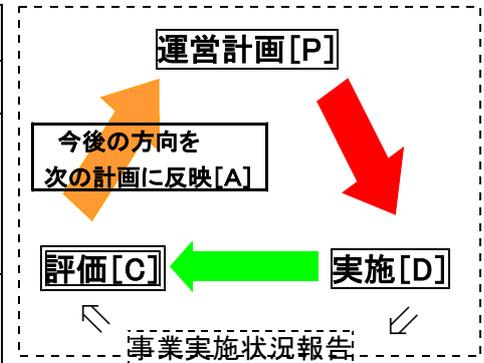
③令和6年度展覧会・教育普及活動事業

2024							2025					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
休館日	1~4,8,15,19~26,30	7,13,20,27	3,10,17,24	1,5~12,16,22,29	5,13,19,26	2,9,17,24,26~30	1~4,7,15,21,28	11,18,25	2,4~13,16,23,29~31	1~3,6,14,20,27	3,10,17,25~28	3,10,17,24,28~31
展覧会	所蔵品展 第1期 (12日間) 4月5日(金)~18日(木) 恋する画家の陶酔ざんまい ※R5年度より継続		所蔵品展 第2期 (59日間) 4月27日(土)~7月4日(木) モダニストの「蝶」 詩人・安西冬衛と好太郎 蝶をモチーフとする清新な短詩で、モダニズム詩の旗手となった安西冬衛(1898-65)。「蝶と貝殻」の連作で白日夢のイメージの世界を切り開いた三岸好太郎。「蝶」をキーワードに、詩人と画家の感性の響きあいをご覧ください。 ■同時開催 好太郎が描く男たち			所蔵品展 第3期 (64日間) 7月13日(土)~9月25日(水) ダブル・ファンタジー ふたつのものであうとき 「ダブル」という言葉をキーワードに、モチーフ、構図、色彩といった造形要素に注目しながら、ふたつのもを組み合わせることでうみだされる、好太郎の絵画世界の魅力をひもときます。 ■同時開催 好太郎とマリオネット		特別展 (52日間) 10月5日(土)~12月3日(火) わがこころの街 —好太郎と画家たちの札幌 好太郎がふるさと・札幌で描いた詩情あふれる風景画を中心に、同時代の画家が描いた古き良き時代の札幌風景を紹介します。大正から昭和にかけての、ノスタルジックな札幌のイメージをご堪能ください。		所蔵品展 第4期 (年度内81日間+次年度13日間) 12月14日(土)~4月18日(金) 「匂ふやうな灰色」 —好太郎・乳白色の世界へ 好太郎の妻で画家の三岸節子は、好太郎の魅惑的な乳白色の色彩を「匂ふやうな灰色」と呼びました。好太郎がこの独自の色彩の世界に至るまでの道程を、初期から晩年までの代表作によって跡付けます。 ■併催 AGH事業 12月14日(土)~2月24日(月振) (58日間) mima-no-me #みまのめ <VOL.10> 北海道ゆかりの若い美術家を紹介するシリーズ企画10回目。		
	連携展示	3~6月 北葉楼札幌本館における展示 ミギシ・サテライト		6~9月 ミギシ・サテライト			9~12月 ミギシ・サテライト		12~3月 ミギシ・サテライト			
普及事業・関連事業			6月8日(土) 詩の朗読会	7月下旬~8月中旬 「たんけん美術館」			10月19日(土) 街歩きツアー	11月3日(祝・日) 講演会	12月中旬~2月下旬「たんけん美術館」			
			6月29日(土) 「日本の詩を歌う」	8月10日(土) 人形劇(大谷短大)					「マール記念日」 読み聞かせコンサート			
									12~2月 AGH事業 「#みまのめ」 アーティスト・トーク			
(音楽事業)	5月 ミニ・リサイタル (教育大)		7月19日(金) ミニ・リサイタル(過年度公募者)				10月 ミニ・リサイタル (大谷大)	11月2日(土) ミニ・リサイタル (過年度公募者)				
* 図書コーナー/通年 2F 三岸好太郎に関する画集・図録・文献や、美術図書等を閲覧できます。 □アニヴァーサリー/7月2日は開館記念日(観覧無料+イベント) * 4月18日は三岸好太郎誕生日(節子命日) ■カルチャーナイト/7月19日(金) ■芸術週間/11月1日(金)~7日(木)												

新たな美術館評価制度について

1 基本的な考え方

ポイント	考え方
改正の趣旨	実績評価型評価から目標管理型評価へ
運営改善のための評価	美術館運営のPDCAサイクルに評価を位置づけ、成果・課題を分析し、今後の方向性を確認
運営計画、実施状況報告と関連する評価	美術館管理規則に定める運営計画及び事業実施状況報告とつながる評価



2 評価のポイント

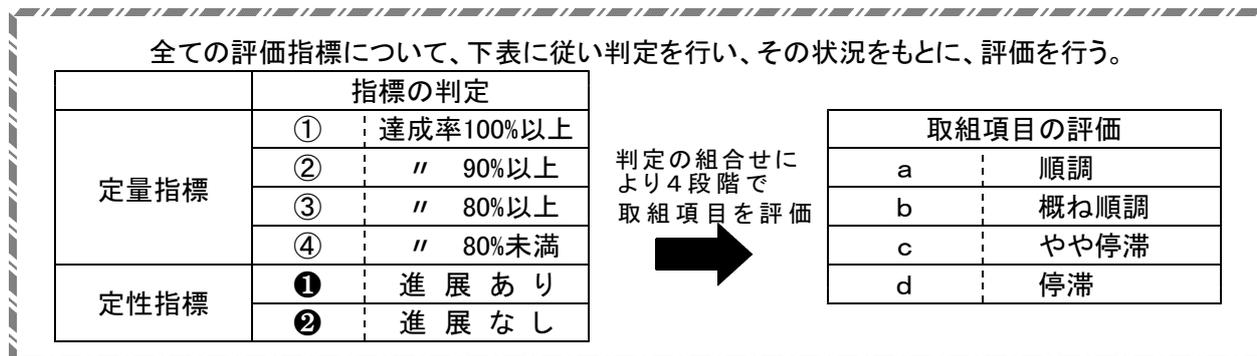
項目	内容
評価の対象 【従前どおり】	○「基本的運営方針」と「取組項目」を対象に評価 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的運営方針: 美術館の基本的役割 (6方針) ・取組項目: 運営方針に基づく具体的な取組 (16項目→13項目)
評価指標 【改正】	○各取組項目に定量又は定性の指標を設定 ○事業廃止等により一部の指標を削除するとともに、博物館法改正等を踏まえ、新たな指標を設定するなど整理 (42指標→37指標 定量17、定性20)
評価判定 【改正】	○全ての評価指標を判定 <ul style="list-style-type: none"> ・定量指標: 4段階 (①達成率100%超・②90%～・③80%～・④80%未満) ・定性指標: 2段階 (①進展あり・②進展なし) ○別紙評価基準により、取組項目及び基本的運営方針を評価 <ul style="list-style-type: none"> ・取組項目: 評価指標の判定の組合せにより、abcdの4段階評価 ・基本的運営方針: 取組項目の評価を点数化し、ABCDの4段階評価
計画と実績の明示 【新規】	○どのような計画や目標(P)を立て、事業や活動に取り組んだ(D)かを明示 ○定量指標については、計画策定の段階で、目標値とその設定理由を明示
成果・課題等の明示 【新規】	○計画と実績の対比や評価指標の状況などをもとに、 <u>成果・課題を分析(C)</u> ○成果・課題を踏まえ、今後の <u>対応方向を明らかにし、次年度の計画に反映(A)</u>

3 評価調書

別紙のとおり

色塗り部分については、運営計画及び実施状況報告と連動させ、評価に伴う事務作業を合理化

評 価 基 準



1 取組項目の評価

(1) 定量指標のみの取組項目

指標の状況	評 価
全て達成率100%以上	a
全て達成率90%以上かつ80%未満なし	b
全て達成率80%以上	c
達成率80%未満あり	d

(2) 定性指標のみの取組項目

指標の状況	評 価
全て「進展あり」	b
「進展あり」過半数	c
「進展なし」半数以上	d

(3) 定量指標、定性指標が混在する取組項目

		【定量指標】			
		全て100%以上	全て90%以上	全て80%以上	80%未満あり
【定性指標】	全て「進展あり」	a	b	b	c
	「進展あり」過半数	b	b	c	c
	「進展なし」半数以上	b	c	c	d

2 基本的運営方針の評価

取組項目の評価を点数化し、その平均値により基本的運営方針の評価を行う。

取組項目の評価	評点		評点の平均値	基本的運営方針の評価	
a	4		3.5以上	A	順調
b	3		2.5以上～3.5未満	B	概ね順調
c	2		1.5以上～2.5未満	C	やや停滞
d	1		1.5未満	D	停滞

基本的運営方針・取組項目・評価指標

基本的運営方針	取組項目(評価項目)	評価指標
A 優れた作品の収集と適切な保管	1 優れたコレクションの形成	定性 ① 収集方針に基づく収集活動
	2 所蔵作品の適切な保管	定量 ② 所蔵品データベースの整備率
		定性 ③ 適切な保管環境の維持と所蔵作品の計画的な修復
	3 コレクションの効果的な活用	定性 ④ コレクションの活用の状況
B 多彩で特色ある展示活動の充実	4 多様なニーズに応える展示会の開催	定量 ⑤ 展示会の観覧者数
		定量 ⑥ 観覧者の満足度
	5 観覧者拡充のための工夫	定量 ⑦ 観覧者に占めるリピーターの割合
		定量 ⑧ 観覧者に占める児童生徒の割合
		定性 ⑨ 展示の企画構成やPR等の工夫
6 館外における鑑賞機会の提供	定性 ⑩ 館外における展示活動の状況	
C 学習の場と情報提供の充実	7 教育普及活動の充実	定量 ⑪ 教育普及プログラムの実施件数
		定量 ⑫ 教育普及プログラムの参加者数
		定性 ⑬ 教育普及プログラムの企画・実施状況
	8 情報提供の充実	定量 ⑭ ARS、図書コーナーの利用件数
		定性 ⑮ 利用しやすい図書・資料コーナーの整備
		定量 ⑯ HPアクセス件数
		定量 ⑰ SNSの投稿数
		定量 ⑱ リモートミュージアムの公開件数
定性 ⑲ 情報発信の工夫改善		
D 活動の基礎となる調査・研究の推進	9 調査・研究の推進	定性 ⑳ 学芸員による調査・研究の報告や発表の状況
		定性 ㉑ 学芸員の研修等の状況
E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上	10 多様な機関との連携・協力	定性 ㉒ 地域の団体やイベント等と連携した取組の状況
		定性 ㉓ 企業や団体等と連携したPR活動
		定性 ㉔ 道内美術館等との連携・協力の状況
		定性 ㉕ ボランティアとの連携・協力の状況
	11 学校等の教育機関との連携・支援	定性 ㉖ 学校教育と連携した取組の状況
		定量 ㉗ 児童生徒向け鑑賞教室(オンラインを含む)の実施件数
		定量 ㉘ キャンパスパートナーシップのメンバー校数
定性 ㉙ 教員を対象とした研修の実施状況		
F 安全で快適な滞在環境の提供	12 施設の適切な維持管理	定性 ㉚ 施設の安全性確保のための必要な措置の状況
		定性 ㉛ 誰もが安心して利用できる施設整備の状況
	13 施設の快適性の向上	定量 ㉜ 鑑賞環境に対する満足度
		定量 ㉝ レストラン・喫茶に対する満足度
		定量 ㉞ ミュージアムショップに対する満足度
		定性 ㉟ ボランティアや事業者と協力してのサービス向上に向けた取組の状況
		定量 ㊱ 館内スタッフの対応に対する利用者満足度
定性 ㊲ ホスピタリティー向上に向けた取組の状況		

■「第11回これからの北海道立近代美術館検討会議」の開催

・日 時 令和5年12月20日（水）13時30分～14時30分

・場 所 Web会議システムZoom

・構成員

（敬称略、五十音順）

所 属	職	氏名
株式会社h a k u	代表取締役	菊地 辰徳
北海道大学	名誉教授	北村 清彦
北海道教育大学釧路校	教 授	佐々木 宰
北海道大学大学院文学研究院	教 授	佐々木 亨
前札幌芸術の森美術館	館 長	佐藤 友哉

・議 題 近代美術館の整備方法等の比較項目について

1 背景・経緯

■ 近代美術館リニューアル基本構想（中間報告）R5.7

第6 今後の進め方（P18～19）

《 近代美術館を整備する方法 》

- ① 既存施設の活用（改修+増築）
- ② 現敷地での建て替え（現地新築）
- ③ 知事公邸等が所在する区域への移転（移転新築） が考えられます。

- ▶ ○ **いずれの整備方法も利点や課題**があり、美術館活動への影響や経済性、環境性などが異なることから、建築関係法規等との整合を確認するとともに、「第5 施設整備の基本的な考え方」を踏まえながら、それぞれの**メリット・デメリットを整理し、比較することが必要**です。
- なお、整備方法の選択に当たっては、様々な御意見があることを踏まえ、**合理性・客観性を確保できる評価方法を検討**するとともに、比較内容について、美術館を利用する方や近隣にお住まいの方など、道民の皆様からも御意見を伺いながら、引き続き丁寧に検討を進め、基本構想を策定することとします。

《 道民の意見（施設整備に関する主なもの） 》

- ・近美の建物、敷地の趣のある雰囲気が好き
- ・自然に囲まれていることで静かで落ち着き、居心地よくリフレッシュできる場所が好き
- ・駅から近くアクセスしやすく、気軽に利用できる場所が好き
- ・知事公館、三岸好太郎美術館と一体的に文化・芸術を発信するエリアになってほしい
- ・世界に誇れるような、観光資源にもなりうる美術館になってほしい

- ・今の近美の建物の良いところを残して、大事に使ってほしい
- ・近美の場所そのままに、施設が生まれ変わってほしい
- ・都心部の中の豊かな今ある自然を大切に守り、残してほしい
- ・建物と自然が一体的に、みどりに囲まれた美術館であってほしい

近代美術館の整備方法等の比較項目について

■ 道の重点政策

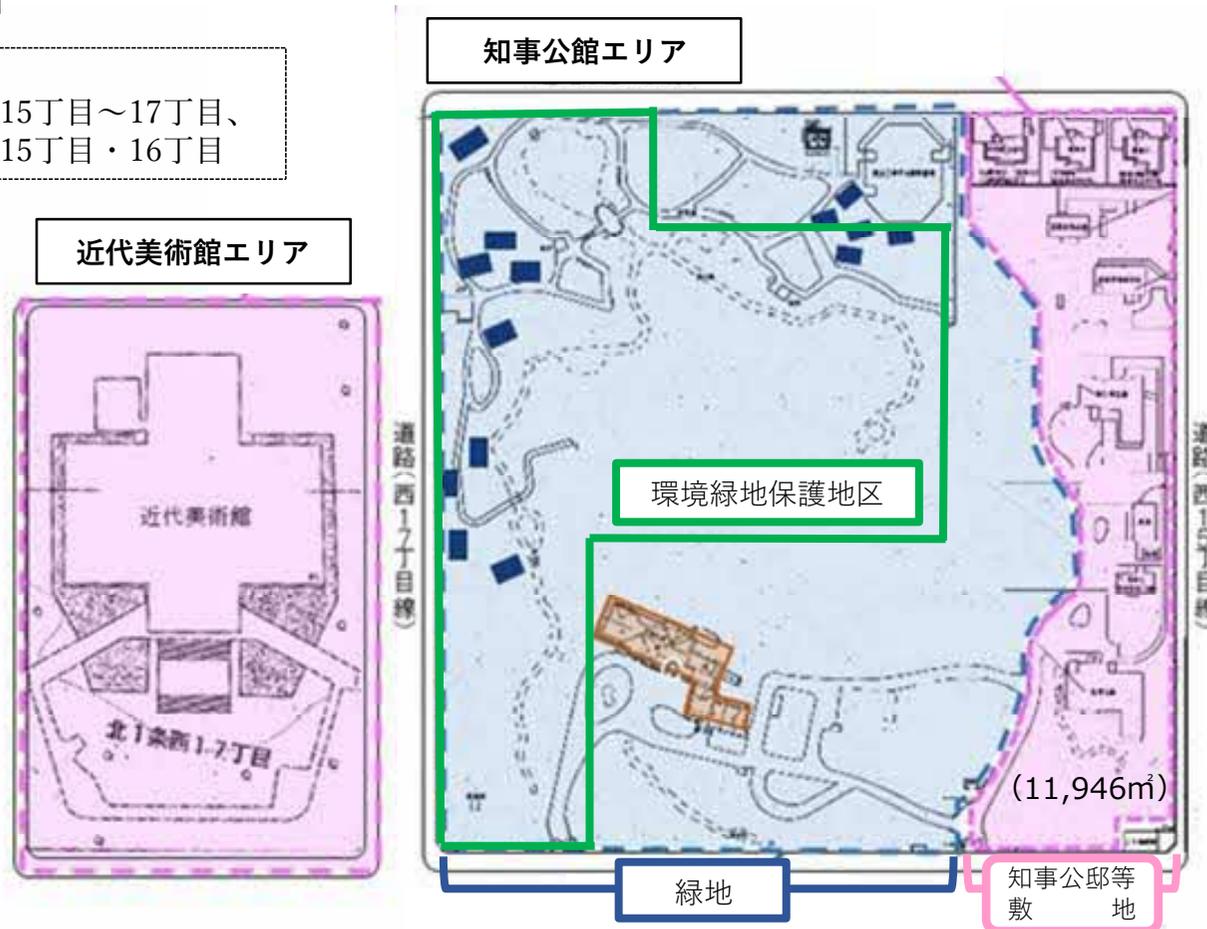
〈本道の文化・芸術・歴史の魅力の発信〉

知事公館・近代美術館エリアの活用策検討

道民・専門家の意見を踏まえ、知事公館や近代美術館を含めたエリア全体の活用策を検討

※参考 該当敷地範囲

所在地
札幌市中央区北1条西15丁目～17丁目、
北2条西15丁目・16丁目



近代美術館の整備方法等の比較項目について

2 背景・経緯を踏まえた対応

○ 業務名

北海道立近代美術館の整備方法等に係る技術的検討調査

○ 目的

知事公館・近代美術館エリアの想定される活用パターン案について、**専門的見地による比較項目の設定**及び**評価の実施**により、**メリット・デメリットを多角的に分析し、合理性・客観性のある**エリアの機能配置を検討

○ 業務概要

プロセス	実施内容		スケジュール
前提条件の整理	関連計画との整合性の確認	・大通及びその周辺のまちづくり方針 - 札幌都心はぐくみの軸強化方針 - ・札幌市都心のみどりづくり方針 等	R5.10 ~11
	関連法規制、制約条件の整理	・都市計画条件（用途制限 等） ・その他立地条件	
事業化可能性の検討	近代美術館の整備内容と施設計画の提示	・想定する美術館活動の整理 ・活用パターン案それぞれの、実現性ある各諸室及び付帯設備等の構成、規模及び配置とその整備内容の検討（ボリュームスタディー※）	R5.11 ~R6.1
	比較項目の設定	・社会面、経済面、環境面等、様々な観点を考慮	
評価及びスケジュールの算定	評価項目に基づいた評価、諸課題の整理	・建設工事費の動向や、類似の施設整備事例を踏まえ、定性的・定量的な評価の実施や諸課題を整理	R6.1 ~3
	整備スケジュールの算定	・整備スケジュールの算定	

※ 必要な諸室面積を仮算定し、建築基準法等に適合するように諸室の配置を積み上げる手法

近代美術館の整備方法等の比較項目について

3 比較項目（案）

○ エリアの機能

項目		基準・視点	
美術館活動	コンセプト実現のための手法や機能例の実現度	ハーモニー	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な点検・更新等が可能な施設設備 ・施設設備のバリアフリー化やユニバーサル・デザイン ・多彩な展覧会への対応や適切な温湿度管理、災害対策が施された展示室 ・くつろぎにあふれた魅力ある空間 ・周辺の緑や環境と調和した持続可能性に配慮した施設設備
		コレクション	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な温湿度管理、災害対策が施された保存環境 ・作品の状態を確認しやすい保管庫 ・安全に作品の搬出入を行える荷解室 ・展示替替館中でも鑑賞可能なコレクション常設展示スペース ・コレクションを適切に運搬できるルートや修復する場所、活用できる場所(展示室、研修室等) ・将来の収蔵数を見込んだ作品・什器類の保管スペースや梱包箱の一時保管場所
		リサーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸員の調査研究や作品・展覧会等に関する資料の保管場所
		コラボレーション	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なジャンルの活動や発表に対応できるような多機能なホール ・幅広い使用に開かれた多機能ルーム ・ボランティア室など美術館に常時関わる道民のための活動スペース
		ウィズ・キッズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ラーニング・プログラムを実施するスペース ・緑を活かした環境学習スペース ・屋外彫刻等を活用した親子で楽しめるスペース ・子ども向け展示スペース
	休館期間	<ul style="list-style-type: none"> ・休館期間の年数（短くできる） 	
	円滑な施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品を適切に保管した状態で美術館を整備できる 	
	駐車スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者用、団体観覧受入用駐車場の広さの確保・台数を増加できる ・駐車場からのアクセスがしやすい 	
美術館の建築物としての歴史的・文化的な価値		<ul style="list-style-type: none"> ・現美術館の活用可能性 	
周辺環境との調和（景観への影響等）		<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の景観になじむ ・他のパブリックスペースとの連動性が生まれる 	
工事計画上の制約 （都市景観等）	敷地条件	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地現況（敷地面積、形状） ・都市計画等（建築面積、延床面積、用途地域 等） 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設（飲食店など）を設置する上での制約が少ない 	
防災上の安全性		<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の被害が想定されにくい（洪水浸水想定区域） 	
アクセス・動線		<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関からのアクセス ・エリアへのアプローチ ・三岸好太郎美術館との関係 	

近代美術館の整備方法等の比較項目について

○ 経済性

項目		基準・視点
イニシャルコスト	近代美術館の改修・新築費用	(概算金額の記載)
	解体する場合の費用（近代美術館等）	
	知事公館を整備する場合の費用（外壁・屋根）	
	散策路を整備する場合の費用（木道・街灯）	
	近代美術館の改修・新築後の大規模改修費用	
ランニングコスト	近代美術館の光熱水費	
	設備保守費	
	除排雪費	
利活用を検討する敷地を民間活用する場合の収入見込		

○ 環境性

項目		基準・視点
環境への負荷	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持（大気・水・土壌環境、その他）	・影響の程度が小さい
	既存樹林等の伐採規模、動植物への影響（仮囲時・付帯工事時の影響も加味）	・既存樹林等の伐採の規模が小さい
	エネルギー、資源・マテリアル、敷地外環境への影響	・環境への負荷が小さい
脱炭素化への貢献度	建築物のZEB化（Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Oriented含む）	・建築物のZEB化（Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Oriented含む）が可能である
その他関連工事による環境影響	廃棄物の量	・廃棄物の量を抑えられる

「魅力再発見！知事公館・近代美術館エリア遊歩イベント」の実施

目的

近代美術館周辺の自然・環境の素晴らしさと近代美術館の現状について、イベントの実施を通じて多くの道民に知ってもらい、エリア全体について興味を持ってもらうことで、エリアの活用検討の機運醸成につなげる。

実施場所、期間

知事公館・近代美術館エリア 令和5年10月7日(土)から10月9日(月・祝)まで

実施内容

区分	内容	参加・応募者数
イチオシ風景 ギャラリー展	エリア内の大切にしたい場所の写真、スケッチを募集して近代美術館に展示し、エリアの魅力を再発見 募集した写真等を活用し、エリアの魅力を集めたマップを作成	106件
クイズスタンプラリー	エリアの魅力を知ってもらうとともに、興味・関心を高めるため、エリア内にクイズを設置し、全て正解すれば美術館グッズをプレゼントするクイズスタンプラリーを実施	114名
知事公館・近代美術館 施設見学ツアー	エリアの現状を知ってもらうため、近代美術館のバックヤードを学芸員が、知事公館を公館館長が案内	42名
その他	集客向上のため、知事公館前にキッチンカーを3台出店 イベントの周知のため、新聞折込、ポスティングによるチラシの事前配布（知事公館・近代美術館エリアの近隣約37,000戸） 道教委ホームページへの掲載、X（旧Twitter）へ投稿、北海道新聞への掲載等を実施	



押し風景 マップ

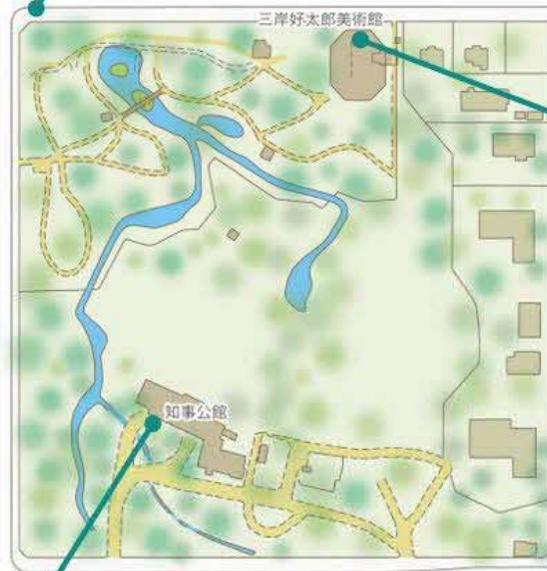


エリア全体 (緑地や周辺)

- ・木や川など、都会の中にある自然豊かな環境が好き！[15]
- ・リスやカモ、野鳥などたくさんの生きものを見ることができるところが好き！[14]
- ・四季折々の風景がひろがる緑地が好き！[13]
- ・多様な種類の木々に囲まれる風景がすてき！[13]
- ・きれいな芝生でピクニックをしたり、子どもやペットが走り回ったりしている風景が好き！[9]
- ・広々としていて、静かで落ち着く環境が好き！[9]
- ・土の遊歩道が歩きやすくベンチもあり、散歩やジョギングがしやすいところが好き！[7]
- ・知事公館や近代美術館の建物がノスタルジックな雰囲気で好き！[2]
- ・屋外にある彫刻作品が好き！[2]
- ・敷地や建物が綺麗で、どこを歩いても絵になる[2]
- ・古い建物、新しい建物、それをつなぐ緑との調和がこのエリアの魅力！[1]

近代美術館

- ・屋外のオブジェや彫刻、バリエーション豊富な常設展や企画展など多くの魅力的な展示を楽しめるところが好き！[18]
- ・近美の2Fロビーからの眺め、四季折々の風景がすてき！[11]
- ・近美周辺の木々や庭、池などの自然や生きものがたくさんいるところが好き[9]
- ・近美の吹き抜けやらせん階段などといった内部空間が好き！[5]
- ・都会だけど自然が多いのが貴重で価値がある[3]
- ・売店ではいろいろな美術品の関連グッズが販売されていてわくわくする！[2]
- ・交通の便がよく来館しやすいところが魅力[1]
- ・近美コレクションを65歳以上は無料で見られるところが魅力[1]



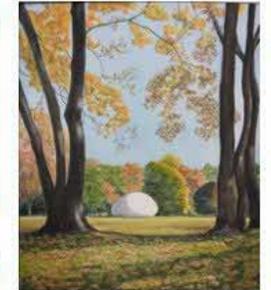
三岸好太郎美術館

- ・三岸好太郎美術館の建物や周辺の自然が好き！[3]
- ・三岸好太郎美術館のカフェからの風景がお気に入り！[2]

2023年10月7日～9日開催の押し風景ギャラリー展の寄贈作品および当日の意見聴取での意見をもとより作成
※[]内は意見数

知事公館

- ・歴史を感じられる知事公館の建物やその内部空間がすてき！[10]
- ・知事公館エリアの四季折々の豊かな自然が好き！[9]
- ・知事公館周辺の屋外彫刻や自然、建物が一体となっている風景が好き！[8]
- ・知事公館前庭の芝生が広くきれいで気持ちよく、思いおもいに過ごせるところが好き！[6]
- ・散歩が楽しめる知事公館周辺が好き！[4]
- ・知事公館からの眺めがきれい！[3]
- ・動物や昆虫など、多くの生きものが生活している環境がすてき！[2]



■ 知事公館・近代美術館エリアに関する道民からの意見聴取の実施（札幌市以外）

概要

知事公館や近代美術館などがあるエリアの映像やパネルを展示の上、道民の方々へ紹介するとともに、このエリアの魅力向上に向けたご意見をお聞きするもの(オープンハウス型説明会)。

実施日

令和6年1月19日(火)から2月25日(日)まで

開催スケジュール

会場	期間	時間
釧路芸術館	1月19日(金)～1月21日(日)	10:00 ～
函館美術館	1月24日(水)～1月28日(日)	
旭川美術館	1月31日(水)～2月4日(日)	17:00
帯広美術館	2月14日(水)～2月18日(日)	
北見芸術文化ホール	2月21日(水)～2月25日(日)	

その他

北海道ホームページで別途WEBによるアンケートも実施
(1/19～2/25)

知事公館・近代美術館エリアのこれからについて皆様のご意見をお聞かせください

5道内5都市で開催!

令和6年1.19(金) → 2.25(日)

北海道では、道民の憩いの場として親しまれている知事公館・道立近代美術館があるエリアについて、この貴重な財産を次の世代に引き継ぐとともに、「文化」「芸術」「歴史」の発信拠点としての魅力の向上など、今後のあり方を検討しています。この機会にこのエリアの魅力を知ってもらうため、映像やパネルを展示しますので、みなさまのご意見をお聞かせください。

知事公館・近代美術館エリアとは
まっぼろ郡心のみどり豊かな憩いの場として親しまれている、知事公館や北海道立近代美術館があるエリア

開催会場	開催場所	開催期間	時間
釧路芸術館 フラワーホール	釧路市幸町4丁目1-5	令和6年1月19日(金)～1月21日(日)	10:00～17:00
函館美術館 ホール	函館市五稜町37-6	令和6年1月24日(水)～1月28日(日)	
旭川美術館 コピー	旭川市常盤公園4046-1	令和6年1月31日(水)～2月4日(日)	10:00～17:00
帯広美術館 コピー	帯広市緑ヶ丘公園内	令和6年2月14日(水)～2月18日(日)	
北見芸術文化ホール	北見市幸町1丁目3-22	令和6年2月21日(水)～2月25日(日)	

会場でご意見をいただいた方には、**抽選**で**贈品**をプレゼント!
ウェブからもご意見をお寄せいただけます!
受付期間: 令和6年1月19日(金)～2月25日(日)

主催: 北海道